

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                |            |           |
|---------|----------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2390800155     |            |           |
| 法人名     | 社会福祉法人しあわせあつくん |            |           |
| 事業所名    | グループホームあつくん家   |            |           |
| 所在地     | 名古屋市瑞穂区大喜町4-27 |            |           |
| 自己評価作成日 | 平成5年1月17日      | 評価結果市町村受理日 | 令和5年5月17日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月「大喜家新聞」を発行し各月の出来事や日頃の写真や担当者からのご様子・連絡事項等掲載した物を送らせていただいております。</li> <li>広いフロアを活用して体操やレクを行っております。</li> <li>7人乗りの車を使用して外出を行っております。</li> <li>毎日欠かさず体操を行っております。</li> <li>お風呂はヒノキのお風呂に入ってもらっております。</li> </ul> |
|--|

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;Jigy_osvoCd=2390800155-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;Jigy_osvoCd=2390800155-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                      |  |  |
|-------|----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人『サークル・福寿草』  |  |  |
| 所在地   | 愛知県名古屋市熱田区三本松町13番19号 |  |  |
| 訪問調査日 | 令和5年2月18日            |  |  |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
| <p>当ホームは小規模多機能事業所を併設して運営が行われていることで、利用者の中には、小規模多機能を利用しながら在宅での生活を継続し、様々な状況に合わせてグループホームへの移行も行われている。同じチームの職員による支援が行われていることで、生活場所の円滑な移行にもつながっており、利用者や家族の安心感にもつながっている。ホームでは、協力医との医療面での連携を深めながら、身体状態の重い方もホームでの生活を継続できるように支援が行われており、利用者の看取り支援が行われている。1ユニットのホームである利点も活かしながら、職員間で日常的に利用者に関する情報交換等を行いながら、一人ひとりの意向や健康状態等に合わせた支援が行われている。また、ホームでレクリエーション活動も行われており、利用者の楽しみにつなげる取り組みも行われている。</p> |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|--|--|---|--|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |  |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |  |
|--------------------|-----|--|--|--|--|
|                    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |  |  |  |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。                            | 事業所理念を目のつきやすい玄関や更衣室近くに掲示し、意識していただいています。                                | 運営法人の基本理念を職員の支援の基本に考えており、職員間で日常的に理念に合わせた支援が行われている。利用者を尊重した支援を行うことができるように、理念の内容が職員の心得にもつながっている。                     |  |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。                            | 子供110番の家やAEDの設置施設のステッカーをポストに貼っており、町内会にも入っております。                        | 現状、地域の方との交流が困難な状況が続いているが、運営法人全体で地域の方との交流が行われており、建物内にある交流スペースを活用した交流が行われている。例年は、地域の自治会や老人会と連携した行事等が行われている。          | 地域の方との交流については、併設事業所とも連携しながら行われていることもあるため、今後の状況もみながら、地域の方との合同の行事の再開等、今後に向けた前向きな取り組みにも期待したい。 |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。                          | 積極的には行えてはいないがレクの歌声や歓声が屋外にも聞こえている事や散歩時行きかう事で高齢者とその施設について思っただけであればと思います。 |  |  |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。       | コロナの為外部の方をお呼びするのは厳しい状況ですが、色々な問題点を話し合い向上に繋げています。                        | 会議については、併設事業所との合同で行われているが、人数を限定する等、可能な限り会議を継続している。例年は、会議に協力医の参加も得られており、医療面に関する助言等の機会にもつながっている。                     |  |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。                 | ユーザー評価の参加や調査依頼も協力しています。NAGOYA介護ネット等も利用しています。                           | 市担当部署や地域包括支援センターとの連携等については、運営法人を通じて行われていることが多いが、ホームからも随時の情報交換等が行われている。また、区内の介護事業所が集まる介護フェスタにホームからも協力する取り組みが行われている。 |  |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 名古屋市高齢者・障害福祉職員研修の資料を使い研修を実施しました。                                       | 身体拘束を行わない方針で支援が行われており、利用者の状況等に合わせた対応を行う等、職員間で連携した利用者の見守りが行われている。また、運営推進会議を通じた身体拘束に関する検討が行われており、現状の確認が行われている。       |  |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。       | 名古屋市高齢者・障害福祉職員研修の資料を使い研修を実施しました。                                       |  |  |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|-----|---|---|--|-------------------|
|    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。    | オンライン研修を行いました。  |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。                         | 契約時には説明を行い、ご質問にお答え致しました。                                  |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                     | ユーザー評価の利用や面会・お電話の折にお話をお聞きし、職員で話し合ったり管理者ミーティングで報告したりしています。 | 家族との交流が困難な状況が続いているが、可能な範囲で面会を行う等、交流を継続する取り組みが行われている。家族です要望等については、運営法人の施設長を責任者とする体制を明示している。また、毎月のホーム便りの作成が行われている。   |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                      | 業務中の話し合いや職員ミーティング・運営推進会議や管理者ミーティングでも議案として提出し検討したりしています。   | 日常的に職員から出された意見等を管理者が把握し、運営法人の施設長にも報告しながら、ホームの運営への反映や業務改善等につなげる取り組みが行われている。また、管理者による職員面談の機会もつくりながら、一人ひとりの把握につなげている。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。      | パート従業員の時給が上がりました。職員アンケートも実施検討中です。                         |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。         | 実践者研修の支援やオンライン研修の提供をしてくれています。目標管理制度を検討中です。                |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。 | 名古屋市の研修を受けた時の講師の方が行っている会に参加しました。                          |  |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------|-----|---|---|--|-------------------|
|                            |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |   |   |  |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 契約時にご家族や本人様に要望や不安な事を聞き取りしています。                                |  |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。            | 上記同様、契約時や他の場面で聞き取りを行っています。                                    |  |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。        | ケアマネに相談、意見もらいながら進めています。                                       |  |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。                        | 机拭き、洗濯物干し・たたみ、下膳、ゴミ箱折り、ゴミ袋たたみなどお願いしています。                      |  |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。         | 本人様のご家族に対する要望を伝えたり必要な物がある時は買ってきていただくようお願いしています。               |  |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。                     | コロナ禍のため、現在はご友人と会っていたことは出来ませんが、ご家族・同施設別部署のスタッフや利用者の方と交流できています。 | 利用者の多くが併設事業所から移行された方でもあり、レクリエーション等の機会を通じて、日常的に入居前からの関係の方との交流が行われている。また、家族との外出の機会もつくられており、身内の方の冠婚葬祭等を通じた交流の機会が得られている。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。                 | 同じテーブルで食事を摂ったり身体を動かしたりおやつ作りしたり関わりを持てるようにしています。                |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
|                                    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。                    | 退所された方のご家族と年賀状のやり取りしています。                         |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |   |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。   | 本人様が安心して自分らしく過ごし目標に近づけるよう計画書作りしています。              | 1ユニットの少人数のホームでもある利点も活かしながら、利用者に関する情報を日常的に職員間で共有し、利用者や家族の意向等の共有につなげている。利用者の状況等にも合わせてカンファレンスを実施しており、アセスメント等への反映につなげている。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                                       | 契約時、ご家族にお聞きしています。                                 |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。   | 個人記録や介護計画実行表を使い毎日振り返りを行っています。                     |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 何か課題が出来た時は本人様を交えご家族・スタッフで支援と介護方法を話し合い計画書に反映しています。 | 介護計画については、3か月を基本に見直しが行われており、利用者の身体状態等にも合わせた対応が行われている。日常生活に合わせた介護計画がつけられており、日常的に利用者の変化等の把握を行いながら、3か月でのモニタリングにつなげている。   |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                        | 個人記録に各スタッフが記入し、出勤時に確認・共有し支援につなげています。              |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。               | CDラジカセ、ご家族持参のお祝いの品など居室でよりよく過ごすことが出来るようにしています。     |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価                                     | 外部評価   |  |
|----|------|---|--|--|--|
|    |      |   | 実践状況                                     | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。                                     | 近くのお寺や神社、施設周辺など散歩に出掛けました。                |  |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                                 | 2週間に1度主治医往診、歯科・眼科にも定期的に往診に来ていただいています。    | 協力医との医療面での連携が行われており、利用者の健康状態に合わせた柔軟な支援が行われている。受診についても職員による支援も行われている。また、ホームに看護師が勤務しており、協力医との連携等、医療面での支援につなげている。 |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。                         | 週に1度非常勤看護師に来ていただき申送りや往診表など状況報告・相談をしています。 |  |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 主治医の協力を得ながら他病院と連携を図っています。                |  |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | ご家族や医師と連携を図りながら取り組みました。今年度は1名看取りを行いました。  | 身体状態の重い方もホームでの生活を継続しており、協力医との連携を行いながら利用者の看取り支援が行われている。利用者の段階に合わせた家族との話し合いを重ねながら、ホームで対応可能な確認が行われている。            |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。   | 緊急時対応の研修や対応マニュアルの掲示を行いました。               |  |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。   | 地域の消防署と連携をとり避難訓練の実施を行いました。               | 年2回の避難訓練を実施しており、夜間を想定した訓練や通報装置の確認が行われている。併設事業所との合同で訓練を実施しており、職員間での連携につなげている。また、ホーム内に水や食料等の備蓄品の確保が行われている。       | 利用者がホーム建物の3階で生活していることもあり、利用者の円滑な避難に困難が予測される。近隣の方との協力関係も含めて、ホームの継続的な取り組みに期待したい。 |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。                   | 尊厳を損ねない言葉遣いをミーティングや研修などで意識するよう職員に伝えています。                                      | 運営法人の基本理念には、「人の不幸の上に自分の幸福を築かない」等、利用者を尊重した対応も掲げられており、職員による利用者への対応に関する基本にもつながっている。また、日常的にも注意喚起等も行われており、職員の振り返りにつなげている。 |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。                     | 生活のペースを維持させつつご本人の意向を大切にしました。  |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 居室で過ごされたり、パズルをされたい時はご自分で出でてこられる。入浴、体操、食事、就寝などある程度時間を決め無理のないよう過ごしていただいています。    |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。                                  | 寒い時などご自身で上着を選んだりできるよう、クローゼットや引き出しに時期に合わせた衣類を用意してあります。寝ぐせを直しや爪切り、耳掻きなど支援しました。  |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。      | 机拭きや下膳など出来ることをお願いしています。ご利用者の状況に合わせて食事変更や形態変更しています。                            | 食事については、関連事業所のキッチンも活用しながら提供が行われており、関連事業所とも連携しながら、利用者の身体状態に合わせた食事形態の対応も行われている。また、ホームでもおやつ作りや季節等にも合わせた食事の提供が行われている。    |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。          | 食事・水分摂取量を個人記録へ記載し栄養不足や脱水にならないよう注意しています。食欲の無い方には栄養補助飲料をお出しし、栄養・水分摂取していただいています。 |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。                   | 毎食後にハミガキ誘導しています。声かけや仕上げ磨き介助を行っています。   |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |  |
|----|------|--|---|---|--|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。                              | 利用者毎に使用するリハパン、パットを何か変化がある度検討し最適なものを探しています         | 1ユニットのホームでもある利点も活かしながら、利用者の排泄に関する情報を共有し、一人ひとりに合わせた支援につなげている。トイレでの排泄を基本に考えながら、職員2名での支援も行われている。また、排泄に関する医療面での連携も行われている。 |  |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。  | 利用者毎に水分量の管理をし医師の協力のもと各人に合った便秘予防の薬を処方してもらっています     |   |  |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている。                             | 2～3日に一度入浴できるよう調整し拒否等があった場合時間や日を改めて入浴していただいています    | ホームでは、毎日の入浴の準備を行いながら、利用者が週2回の入浴ができるように支援が行われている。木の浴槽が設置されていることで、日常的に木の香りを楽しみながら入浴が行われている。また、季節に合わせた入浴も行われている。         |  |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。   | 自由に居室への行き来してもらい気候の変化には衣類や寝具の調整を細かく行っています          |   |  |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。  | 担当医、看護師、薬剤師に相談しつつスタッフ間での情報の共有に努めています              |   |  |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。                             | 利用者皆さんで楽しめるレク以外に個人の好みに合わせた遊具を用意しています              |   |  |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 昨今のコロナで家族との外出はまだ難しいですがスタッフと共に近所へ散歩等はできる環境を維持しています | 利用者の外出が困難な状況が続いているが、散歩を兼ねて近隣の神社に出かける等、現状で可能な範囲で支援が行われている。自動車を活用した外出も行われており、感染症の状況をみながら市内の観光施設に出かける取り組みも行われている。        | 利用者の外出行事を実施する等、感染症の状況をみながら外出を行う取り組みが行われている。今後も段階的に利用者の外出の機会が増えることを期待したい。 |



| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。  | 事業所の方針により金品は部屋へ置かないようにしています                                |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。   | 本人の要望があればスタッフが代わりに連絡を取ります 家族には近況を報告しいつでも面会ができる環境を整えています    |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 定期的な清掃をし見苦しい場所には目隠し等で対処しています 利用者様が作られた作品を飾っています            | ホーム内は限られた広さであるが、木のぬくもりを活かしながら、利用者が日中を落ち着いて過ごすことができる生活環境がつけられている。また、季節感のある飾り付けを行う等、アットホームな雰囲気づくりも行われている。         |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。  | 共有空間の中でもその人の場所を作り利用者様同士でも認識して頂いています                        |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。  | 自宅で使っていた調度品をお使いいただくよう居室に無理のない範囲で家族にお願いしています                | 居室には、利用者や家族の意向等にも合わせた使い慣れた家具類の持ち込みが行われている。居室についても木を活かした和風の雰囲気がつくられていることで、利用者が馴染みやすい環境がつくられており、畳等を敷いて生活している方もいる。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。   | 利用者様の行動範囲に危険な物は置かず 本人の要請がない時や明らかに危険な状態ではない時はそばで見守るようにしています |   |                   |